

登録コード	TSK03500	開講年度	2026				
授業科目	学外特別実習Ⅱ（情報）					担当教員	白井 啓一郎
英文授業名	Internship 2					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	大学院総合理工学研究科、工学専攻、情報数理・融合システム分野、修士1～2年生
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 4 TSカリ						
	【研究科共通】 人類、社会の平和的・持続的発展のために、研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	幅広い見識と健全な倫理観を身につける。
	【研究科共通】 環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力					⇔	専門知識と実践的技術力を身につける。
	【研究科共通】 さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	自主的に情報を収集しさまざまな課題に対処する。
	【研究科共通】 深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	論理的に説明できる思考力を身につける。
	2 6 TSカリ， 2 5 TSカリ， 2 4 TSカリ						
	【専攻】 工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	幅広い見識と健全な倫理観を身につける。
	【専攻】 環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	専門知識と実践的技術力を身につける。
	【専攻】 さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	自主的に情報を収集しさまざまな課題に対処する。
	【専攻】 専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	論理的に説明できる思考力を身につける。
(2)授業の概要	企業・団体等の電子情報システム工学に関連したインターンシップに参加し、プログラム終了後にレポートを提出する。						
(3)授業計画	事前に当該年度のインターンシップ担当教員に相談のうえ、企業・団体等のインターンシッププログラムに従って実施する。						
(4)成績評価の方法	インターンシッププログラム終了後速やかにレポート（A4）およびプログラム担当者（実習先責任者）作成の実習証明書（A4任意フォーマット、ただしサインまたは捺印が必要）を提出する。このレポートの内容と実習証明書に基づき成績の判定を行う。						
(5)成績評価の基準	「水準にある」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加し、レポートと実習証明書を提出した場合 「やや上にある」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加し、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出した場合 「かなり上にある」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加し、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出し、90時間以上の学修があった場合 「卓越している」 企業・団体等のインターンシッププログラムに参加し、良くまとめられたレポートと実習証明書を提出し、90時間以上の学修があり、企業・団体等から高い評価コメントを得た場合						
(6)事前事後学習の内容	2 単位修得するには、90時間の学修が必要となる。 通常の週 1 回授業で 2 単位の授業では授業時間30時間（2時間×15回）， 自習学習時間60時間（4時間×15回）となる。 企業・団体等へのインターンシップにおいて、それと同等とみなせるかは事前に当該年度のインターンシップ担当教員に相談すること。						
(7)履修上の注意	本実習を卒業に必要な単位に算入することは出来ない。（余剰単位の扱い） レポートはA4用紙を用い、下記のフォーマットに従って作成する。 ・学籍番号 ・氏名 ・企業名および部署名 ・プログラムの期間 ・プログラムの概要 ・応募の目的 ・得られた知見やスキル ・まとめと感想 詳細は事前に 当該年度のインターンシップ担当教員（副学務委員）に相談すること。						
(8)質問,相談への対応	メールなどにて随時受け付ける。教員室に来る場合は事前にアポイントメントをとること。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						